



▲持論が展開されたパネルディスカッションとパネラーの菅井貴子氏、小高大輔氏、堤純一郎氏

▶秋元克広札幌市長、片山さつき参議から祝電が寄せられた



動していく決意を示すなど、企業や市民の脱炭素への意識は大きく高まっているからだ。

基調講演、パネルディスカッション、企業のビジネスマッチングの順で行われた。講師は環境省大臣官房政策課の安田将人政策企画官。「北海道の

カーボンニュートラルの課題と未来」をテーマに、今後10年間で150兆円超の官民投資を目指すことや気候変動対策の視点を織り込んだ企業経営などについて述べた。

「カーボンニュートラルの省エネ対策がそのまま電気料金削減対策につながるという共通認識を形成でき、国の政策や補助金、具体的な取り組みなどを発信し、有意義なディスカッションだった」と越智氏は語る。



▲空調自動制御により30~70%の電気使用量を削減

北海道カーボンニュートラルフォーラム開催



▲北海道経済センター大会議室で行われた

**脱炭素への意識向上
絶好のタイミング**

あかりみらい（本社・札幌市）社長で危機管理コンサルタントの越智文雄氏が実行委員長を務め、同社が実行委員会事務局を担った「北海道カーボンニュートラルフォーラム2023」が6月5日、北海道経済センターAホールで行われた。企業や自治体関係者らが参加し、

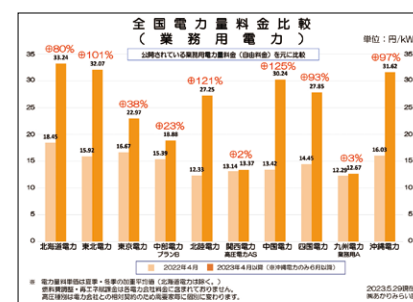


▲実行委員長 越智文雄氏



▲環境省 安田将人氏

2050ゼロカーボン実現に向けた行動が大きな社会テーマとなるなか、ゼロカーボンの知識や地域の特性を生かした取り組みを学び、考える機会となるよう、都道府県が主体となったセミナーは全国各地で行われている。この「北海道ゼロカーボンフォーラム」は純粋な民間の手による。テーマの選定から講師やパネリストのスカッションの準備と運営はあかりみらいが



▲高圧・業務用電力料金全国比較

中心となつて進められた。2月に開催された「沖縄カーボンニュートラルフォーラム」に続く第2弾で、いわば地域社会貢献事業の一環でもある。その行動力を賞賛する声も参加者から聞かれた。カーボンニュートラルに関するフォーラムとしては絶好のタイミングだ。今年4月に札幌でG7環境大臣会合が開かれ、鈴木直道知事と秋元克広札幌市長は「北海道・札幌宣言」で地域脱炭素のフロンティアとして行